

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		2		作成日		30年 6月 26日		
事務事業名		救急医療等運営費						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち						課名	健康づくり課	係名		
		2-1 健康に暮らすまちをつくる						シート作成者				
	施策	2-1-2 地域医療体制の充実						予算費目	会計	一般		
									款	4		
主要施策	①地域医療体制の充実						項		1			
	②救急医療の充実						目		3			
個別計画名												
住民との関わり		特になし										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民				地域で安心な医療が受けられるよう、医療機関と連携した医療体制の充実を図る。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		中核的医療の役割を担う公的病院の24時間救急医療体制を堅持するための運営経費や、救急医療情報システムに係る経費を一部負担した。										
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		( 年間)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等		医療介護総合確保推進法、三重県地域医療構想										
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0			12,470			12,985				
財源内訳	国庫支出金											
	県支出金											
	地方債											
	その他特定財源											
一般財源					12,470			12,985				
直接事業費（千円）A					12,470			12,589				
人件費（千円）B		0			0			396				
内訳	一般職員（人・千円）		人	0	人	0	0.06 人	396				
	臨時職員（人・千円）		人	0	人	0	人	0				
成果指標	成果指標名				単位	29年度		30年度	31年度			
						目標	実績	(目標)	(目標)			
	①											
	②											
③												
説明		住民が傷病に応じた医療を受けることができる地域の医療体制の堅持が目標であり、利用者数や救急搬送数といったアウトカム指標で成果を評価することはふさわしくないため、成果指標を設定しなかった。										

事業名	救急医療等運営費	シート作成課	健康づくり課
-----	----------	--------	--------

一次評価者	健康づくり課長	二次評価者	福祉部長
-------	---------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
<b>必要性</b>	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	安心して地域で暮らすためにも、少なくとも現在の医療体制の維持が必要です。
<b>有効性</b>	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	公立・公的病院を域内に持たない本町にとっては、近隣市の公的病院の運営費を一部負担することは、施策の目的を達成するために有効かつ効率的です。
<b>達成度</b>	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	傷病の程度にあわせた医療を提供できています。
<b>効率性</b>	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	公立・公的病院を域内に持たない本町にとっては、近隣市の公的病院の運営費を一部負担することは、施策の目的を達成するために有効かつ効率的です。

本事務事業の実施適切性の説明

特に医療や介護への依存度が高くなるといわれる75歳以上の高齢者が増加し、高齢者に多い疾病を含め、医療需要の増大は避けられない状況です。一方、医療を支える医師や看護師等の不足が叫ばれて久しく、本圏域でもその影響が顕在化しています。このようななか、限られた医療資源及び人材確保のために必要である各種負担金等を負担しています。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
	○						
今後の改革・改善目標	医師等の医療従事者不足は顕著であるが、増え続ける救急医療に対応するため、桑名、いなべ両医師会やいなべ総合病院の協力を得て、安心して救急医療が受けられる体制を堅持する必要があります。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
	○						
コメント	全国的に医師不足がささやかれる中、桑名・いなべ医師会に働きかけ救急医療体制を堅持する必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--